所沢市医療介護連携支援センター　　創刊号　2023.3.31発行

# 絆ネットところ　「こんにちは！」

## 所沢市医療介護連携支援センターのご紹介

所沢市医療介護連携支援センターは、在宅での医療と介護をよりスムーズに提供できるよう、医療・介護の関係者の連携体制を構築・支援することを目的に、所沢市の委託を受け所沢市医師会に平成27年10月に設置されました。この度、所沢市医療介護連携支援センターの活動報告と今後の活動内容などのお知らせを盛り込んだ　**絆ネットところ「こんにちは！」**を創刊いたします。今後も皆さまにお伝えしたい内容や、皆さまの業務に活かせる内容を載せてまいりたいと思っておりますので、是非お手に取ってご一読いただけますようお願い申し上げます。

**所沢市医療介護連携支援センター　職員紹介**

今更ながら…令和4年度より職員が新しくなっております！！

石川　由紀子（社会福祉士）　　戸部　昌代（看護師）　　市川　香代子（事務）

どうぞよろしくお願いいたします。

## 市民の皆さまに在宅療養を知っていただく為の冊子を作成いたしました　　令和4年3月発行

「知っておきたい在宅療養」パンフレットを作成いたしました。最期まで住み慣れた自宅で医療や介護を利用しながら生活を送るための費用や手続きについて分かりやすく書いてあります。

パンフレットは、当センターや地域包括支援センターにございます。当センターのホームページからもダウンロードすることができますので、ぜひ、ご活用ください。

## ACPをわかりやすくお伝えします。

当センターには、もしものための話し合い「もしバナゲーム」があります。ゲームを通して自分の価値観や大切にしていること等自分自身で知る良い機会になります。自分自身の思いを伝えることがACP（人生会議）。まずは自分を知るところから。どなたにも貸出しております。

## 手洗いは感染予防のイロハのイです。

自分の手洗いに自信はありますか？

「洗い残しはないか？」「十分に汚れが落ちているか？」自分の手洗いを可視化してみませんか？当センターに手洗いチェッカーがあります。

貸出できますので、ぜひご活用ください。指導もいたします。

所沢市医療介護連携支援センター

# 絆ネットところ　「こんにちは！」

## 専門職向けACP普及啓発人材育成講演会

令和4年11月20日(日)に、講師に久喜市の新井病院院長　関谷先生をお招きし、ZOOM開催いたしました。イラストを多用された資料を使いACP（人生会議）についてわかりやすく解説してくださいました。質疑応答も行われACPについて理解を深めることができました。

アンケートでは「救急医療と延命治療の違いが理解できた」、「お一人お一人の意志に沿ってACPを考えていきたい」、「行政や市議会議員など多職種の方々にも聞いてもらいたい」等の意見が聞かれました。今後もACPの普及啓発を継続してまいります。

## 市民向け講演会「絆ネットところ」

令和4年12月4日（日）に、「絆ネットところ　あなたらしく生きるために」を所沢市・所沢市医師会・所沢市介護保険サービス事業者連絡協議会等のご協力のもと所沢まちづくりセンターにて行いました。

第１部は並木病院院長　赤津先生、ふく在宅クリニック院長　福本先生、所沢中央消防署　嶋﨑救急救命士の講話。第２部は会場の皆様からの質疑応答を中心としたシンポジウムを行い、これからの所沢市地域包括ケアの在り方やACPの理解を深める場となりました。アンケートでは「ACP、DNAR（蘇生措置拒否）の理解がより深くできた」「この講演会をシリーズ化してほしい」等の意見が聞かれました。

## 埼玉県補助事業　緩和ケア研修　専門職向け「グリーフケア研修会」

令和5年3月9日（木）に、講師に一般社団法人日本グリーフケア専門士協会代表理事で公認心理師の井手敏郎先生をお招きしZoom開催いたしました。グリーフの理解やグリーフの状態にある方との関わり方について学び、自らが共有体験することで深く理解できる研修でした。

アンケートでは「（傾聴ではなく）敬聴・敬話の重要性。伴走者でなく同行者として寄り添う事が大切。」「グリーフの方への方の声掛けについてよく理解できた」「今後の業務に活用したい。」等の意見が聞かれました。

## 令和4年度人生会議（ACP）普及啓発事業

**高齢者サロンに参加されている皆さまに向けて、先生方がACP（人生会議）について講座を行いました。**

①10月23日（日）百年会
（会場：旭町公民館）　講師：京谷先生
②11月6日（日）なかまの会
（会場：けやき通り第2集会所）　講師：赤津先生
③11月27日（日）お達者倶楽部フレふれ広場
（会場：小手指ハイツR棟集会室）　講師：京谷先生
④12月18日（日）お達者クラブ・リンク
（会場：第8区自治会集会所）　講師：赤津先生
⑤3月10日（金）お達者倶楽部　はくれん会
（会場：すうぃーとはーと）　講師：小野田先生
⑥3月16日（木）わかたけクラブ
（会場：大岾自治会館）　講師：水野先生

参加者の方々からの質問も多く活発な講座となりました。参加者の方々から「普段先生と気軽にお話できないので今日はとても良かったです」「帰ったら家族と話し合いたい」等の意見がありました。

**講座風景**

## 令和４年度　社会福祉協議会内部訪問介護　感染研修会

令和5年3月15日（水）に、保健センター3階会議室にて社会福祉協議会　訪問介護事業所の方々へ当センターの戸部看護師が感染症予防の研修を行いました。

手洗いの実習は手洗いチェッカーで、ご自分の手洗いの成果を実感していただきました。また、パワーポイントを使った講義に真剣に向き合っている姿から訪問介護における感染予防の重要性を再確認された研修となりました。

## 令和４年度　所沢市介護保険サービス事業者連絡協議会　訪問介護部会研修会

令和5年3月17日（金）に、所沢市医師会看護学校視聴覚室にて当センターの石川所長が「介護事業者として知っておきたいACP～もしバナゲームの体験からACPを楽しく学ぼう～」を3年ぶりに対面形式で行いました。初めにグループで「もしバナゲーム」を行い、自分自身が大切にしていることを再発見し話し合うことで、伝えることが重要という理解が深まりました。また、「日常業務で聞いた利用者の本音を自分たちも情報共有することが大切」等の感想も聞かれました。

**このコーナーでは医療関係者、介護事業者の皆様から「耳寄りな情報」や「ちょっとした講座」などを掲載してまいります。初回は並木病院院長、所沢市医師会会長赤津拓彦先生にお願いしました。**

## 赤津拓彦先生　ご紹介

平成19年4月より並木病院院長にご就任
令和4年6月より所沢市医師会会長にご就任
「生老病死、いずれの場においても地域住民、患者様の安寧を支えることができる医療、看護、介護、福祉のネットワークの構築と実現」を当面の目標に掲げていらっしゃいます。

**国（国民）が求めている「かかりつけ医」の姿と今後（令和5年通常国会にて決定予定）**

少子高齢化と生産年齢人口の減少が進むなか、持続可能な社会保障制度とするため、負担と給付の適正化、効率化が避けて通れません。医療においては令和５年２月の通常国会で「かかりつけ医機能」の制度化が進みます。「かかりつけ医機能」の定義についてはこれまで省令で「身近な地域における日常的な医療の提供や健康管理に関する相談等を行う医療機関の機能として厚生労働大臣が定めるもの（以下「かかりつけ医機能」という）」と規定されていました。具体的な機能としては厚労大臣告示で、日常的な医学管理及び重症化予防、地域の医療機関等との連携、在宅医療支援・介護との連携、適切かつ分かりやすい情報の提供等とされていました。

今国会では医療法改正案等が提出され、かかりつけ医機能を法律で規定し、制度整備を推進、強化させることが決まります。将来的にはかかりつけ医の登録制や認定制を見据えているような印象です。「今後のかかりつけ医機能」としては具体的には１．外来医療の提供（幅広いプライマリケア等）、２．休日・夜間対応、３．入退院時の支援、４．在宅医療の提供、５．介護サービス等との連携があげられています。これらを開業医一人で全部実施するには高いハードルが存在しますので当初はそれぞれの医療機関が行っている機能を「かかりつけ医機能報告制度」として都道府県に報告し、都道府県は医療機関情報をインターネットを通じて住民や受診希望者に情報提供することになりそうです。但し、将来のあるべき姿は全５項目の充実・強化ですので、基盤整備のために診療報酬での誘導が必ずあると思います。また、大規模化、集約化、協働化を促すため補助金や地域医療連携推進法人の活用で誘導することになるでしょう。

経済原理とは限られた資源で無制限の消費者の欲求を満たすことだそうです。消費者は市場の王様であるとの言葉もあります。我々に突きつけられている国（国民）の要請はとても厳しく、経営的には大規模化、協働化の推進が近々に必要となりそうです。需要と供給と言っても、物と人とは異なりますが消費者（患者様、御利用者様）あっての我々です。医療・介護・福祉の提供者がその志を忘れることなく、国民の求めに応えることができるよう、知恵を絞り、身体を使い、心を砕き精進致しましょう。

### 編集後記

絆ネットところ「こんにちは！」創刊号はいかがでしたか？
今後も医療関係者・介護事業者皆さまの情報共有できる場として発行してまいります。
今後ともよろしくお願いいたします。
所沢市医療介護連携支援センター　石川・戸部・市川